

1. 科目名 (単位数)	児童・家庭福祉論 (2単位)	3. 科目番号	SJMP1101 SSMP2102 SCMP2302						
2. 授業担当教員	植木 是								
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、演習、プレゼンテーション、学外調査	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係									
7. 講義概要	<p>急速に進む少子高齢社会に対応した児童や家庭に対する支援と今後の児童・家庭福祉のあり方について、子ども家庭福祉の原理、理念、権利保障、子ども家庭福祉にかかわる法制度、福祉・保健施策、子ども家庭への援助活動など、基本的なことを体系的に学習する。特に、子ども家庭福祉にかかわる施策分野については、グループでの学習を重視する。また、学外での調査も取り入れ、学生が教室内だけの理解から、地域や社会と関係した視点から問題が把握できるように援助する。併せて、社会福祉士国家試験に対応できる授業内容とする。</p> <p>授業の進め方は、講義を基にグループでのディスカッション、演習等を多く取り入れたものにする。</p>								
8. 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢社会における子どもや家庭に対する支援の必要性を理解する。</li> <li>・子ども家庭の福祉の原理・理念・権利保障について理解する。</li> <li>・児童福祉の歴史について理解を深める。</li> <li>・子ども家庭の福祉にかかわる法制度及び具体的施策について理解する。</li> <li>・子ども家庭への相談・援助活動、地域援助活動等について理解を深める。</li> </ul> <p>現在の日本における児童・家庭福祉の課題について理解を深めるとともに、社会に出た時に活用できる発想法や分析方法、スピーチ・プレゼンテーションなど具体的手法、スキルを授業の中で身につける。</p>								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	授業のなかで指示したレポート課題、視聴覚教材に対する感想文の提出を求める。								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 社会福祉士養成講座編集委員会編集 『新・社会福祉士養成講座 15 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度』第7版 中央法規出版。</p> <p>【参考書】 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 児童家庭福祉の全体像を、講義やグループ討議、レポート作成を通して理解し、説明ができるようになる。</li> <li>2. グループ活動を通じて、思考力を高め、問題発見・問題解決力などの能力を培う。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業への積極的参加 (ディスカッション・発表)</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>2 日常の学習状況 (小テスト・小レポート・学外調査)</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>3 課題レポート</td> <td>総合点の40%</td> </tr> </table>			1 授業への積極的参加 (ディスカッション・発表)	総合点の30%	2 日常の学習状況 (小テスト・小レポート・学外調査)	総合点の30%	3 課題レポート	総合点の40%
1 授業への積極的参加 (ディスカッション・発表)	総合点の30%								
2 日常の学習状況 (小テスト・小レポート・学外調査)	総合点の30%								
3 課題レポート	総合点の40%								
12. 受講生へのメッセージ	<p>児童の問題は世帯が抱える生活問題に関連して生じてくる。児童の問題を通して世帯の生活問題を見極め、発生の原因とその対策を考えることができるようにすること。</p> <p>大学等への進学率が5割を超えている今日の児童の進路状況に対して、児童養護施設等入所児童の進学率は1割程度となっている。すべての児童が能力と意思に応じて自由に進路を選択できない原因がどこにあるのかを探り、それを保障するためには何が必要かを考えてみる。</p>								
13. オフィスアワー	授業時間の前後に相談に応じる。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	オリエンテーション 児童のとらえ方を考える	事前学習	児童福祉法の条文に目を通しておく。						
		事後学習	社会問題としての児童問題を考える。						
第2回	第1章 現代社会と子ども家庭 子育て支援施策の現状について	事前学習	第1章を通読し、わからない用語等があれば調べておく。						
		事後学習	子育て支援施策の現状と課題についてまとめておく。						
第3回	第2章 子ども家庭福祉とは何 (1) 子ども家庭福祉の理念と子どもの権利	事前学習	第2章を通読し、わからない用語等があれば調べておく。						
		事後学習	子どもの権利条約、民放など関連する条文に目を通しておく。						
第4回	「子どもの貧困」 視聴覚教材視聴、グループワーク	事前学習	「子どもの貧困」について、事前学習をする。						
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめておく。						
第5回	第2章 子ども家庭福祉とは何か (2) 児童福祉の発展	事前学習	第2章第4節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。また、関連する世界史、日本史についても理解を深めておく。						
		事後学習	戦後日本の児童福祉の発展について、復習しておく。						

第6回	第3章 子ども家庭福祉にかかわる法制度 子ども家庭福祉の法体系と実施体制	事前学習	第3章第1節、第2節、第3節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	児童福祉に関わる機関・組織について理解しておく。
第7回	「児童虐待」 視聴覚教材視聴、グループワーク	事前学習	「児童虐待」について、事前学習をする。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめておく。
第8回	第3章 子ども家庭福祉にかかわる法制度 子ども家庭福祉の実施機関と専門職	事前学習	第3章第4節、第5節を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	児童福祉の現場で働く各種専門職の役割・機能について整理しておく。
第9回	第4章 子ども家庭にかかわる福祉・保健(1) 母子保健、障害児対策	事前学習	第4章を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	母子保健制度の意義について、振り返りを行う。
第10回	「発達障害」 視聴覚教材視聴、グループワーク	事前学習	発達障害について理解を深めておく。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめておく。
第11回	第4章 子ども家庭にかかわる福祉・保健(2) 保育、子育て支援	事前学習	第4章を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	保育問題の現状と課題について、理解を深めておく。
第12回	第4章 子ども家庭にかかわる福祉・保健(3) ひとり親家庭支援、社会的養護	事前学習	第4章を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	ひとり親家庭が抱える生活問題の構造を理解する。
第13回	「家庭的養護」 視聴覚教材視聴、グループワーク	事前学習	家庭的養護について事前学習をする。
		事後学習	講義の内容を振り返り、要点をまとめておく。
第14回	第5章 子ども家庭への援助活動 地域ケアと施設ケア	事前学習	第5章を通読し、わからない用語等があれば調べておく。
		事後学習	地域ケアと施設ケアそれぞれの特徴についてまとめておく。
第15回	小テスト 「社会的養護」 視聴覚教材視聴	事前学習	社会的養護と関連する組織・機関への理解を深めておく。
		事後学習	社会福祉における子ども家庭福祉の位置づけを確認し、必要な制度、サービスに対する理解を深めておく。